

※ 今週のアウトトラック (7/9~7/13)

先週は週末に米国雇用統計の発表を控え、小動きな展開が予想されましたが、月曜日からドル円のレジスタンスをブレイクを狙う動きが活発化しました。

米国雇用統計の結果は、非農業部門雇用者数などは予想を上回ったものの、失業率や平均時給などが奮わず、やや失望からのドル売りが広がっているようです。

今週は、米国雇用統計のやや期待外れな結果が、どの程度広がるかがまずは注目されます。ドル売りがある程度ひと段落した段階で、再びドル高に向かう可能性も十分にあるように思います。

先週ドル円は、月曜日から111円付近のレジスタンスブレイクの動きが活発化しました。米国雇用統計発表後は、やや失望売りが広がっています。

今週は、まずこの失望売りがどの程度まで広がるかに注目したいところですが、意外と早い段階で、再びドル高に向かう可能性も十分にあるように思います。

ドル円の予想レンジは109円から112円です。

ユーロ円は先週、ユーロドルの上昇なども手伝って130円付近までユーロ高が進んでいます。

今週は再び、130円付近のレジスタンスブレイクの動きが活発化しそうです。ユーロドルが大きくユーロ売りに傾くようなことがなければ、130円付近のブレイクは時間の問題のような気がします。

ユーロ円の予想レンジは127円から133円です。

ポンド円も147円付近までポンド高が進んでいます。今週何もなければ、148円付近のレジスタンスをブレイクする可能性が高そうです。

ポンド円の予想レンジは146円から150円です。

今週はドル売りの底を確認した後で、再びドル高に向かう可能性もありそうですが、市場の関心は、再び米国と中国の貿易摩擦に向いていて、ネガティブな報道が入った場合などは、急激なドル売りに十分な注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。